

橋谷田岩男さん(町内在住)が 鳥取県の伝統工芸士に認定されました



3月19日(水)、鳥取県庁にて鳥取県の伝統工芸士認定式があり、本町在住の橋谷田岩男さんが漆器分野で認定されました。平成15年から漆器製造を始め、漆の研究・技法の向上に励まれる一方、近年は「佐治漆」復興にも取り組まれるなどの活動が評価をされました。鳥取県の伝統工芸士で漆器部門での認定は初めてだそうです。

橋谷田さんから「本町から伝統工芸士が生まれたということは大変意味のあることであり、これをきっかけに本町の文化芸術の水準が益々向上することを願っている」というコメントがありました。

TOPIC

4月13日(日) 開幕

2025年 大阪・関西万博 智頭町産の木材が提供されました！



▲関西万博ウズベキスタンパビリオンの様子

関西万博のウズベキスタンパビリオンの柱材とするため、智頭町森林組合が20本の智頭町産材を納材しました(全国8県が計320本の国産材を納品)。同パビリオンは「知識の庭」をテーマにした建築物で、納品された丸太に埋め込まれたチップで産地情報を読み取ることができ、その木の来た山や森についても思いを馳せることができます。

木材調達を取りまとめた関西広域木造建築普及協議会担当者は「『伐って、使って、植えて、育てる』ことの大切さを世界の人々に伝えていきたい」と話しており、今後の国産木材の更なる利用・普及に繋がることが期待されます。